

# いのちの山河 日本の青空Ⅱ

様

## 試写会ご招待状

平成22年2月

9日(火)・10日(水) 18:00～

(上映2時間+説明等 30分程度)

館山市コミュニティセンター第一集会室

館山市北条 740-1 TEL:0470-23-3111

陸の孤島・豪雪の無医村であった岩手県沢内村は、多病多死に苦しんでいました。深澤晟雄村長は「人間尊重、生命尊重こそが政治の基本である」として、昭和35年から老人と乳児の医療費無料化を実現。その結果、全国初の「乳児死亡率ゼロ」を達成し、「自分たちで生命を守った村」として知られています。映画『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』は、この実話から誕生しました。

安房でも看護学校が相次いで閉校となり、深刻な医療問題は他人ごとではありません。私たち市民はいったい何をすればいいのでしょうか。この映画からそのヒントを考えてみたいと思います。

そこで安房医師会の後援を得て、3月6日(土)千葉県南総文化ホールにて上映会を開催することとなりました。左記日程で無料試写会を行ないますので、本状ご持参のうえご来場ください。できるだけ多くの安房市民にご鑑賞いただくため、試写会終了後、ご賛同くださる皆様には本上映会の前売券をお預けし、広く頒布にご協力いただけますようお願い申し上げます。

主催:安房の地域医療を考える市民の会  
(問合せ FAX:0470-22-8271)

後援:安房医師会

昔から転地療養で知られる安房は「癒しの地」です。看護師はたいへんだけど、やりがいのある仕事です。看護師になれば就職先に困ることもないし、若者人口の流失も防げます。お子さんやお孫さんにもオススメです。また、かつて看護師だった有資格者の皆さんも、ぜひ力を貸してください。よろしくお祈りします。



安房は医療崩壊と無縁だと思っていたけれど、看護師不足が深刻なら多くの市民に知らせなくちゃいけない。将来の安心を考えたら、看護学校は絶対必要だと思う。学校を作って若者の人口を増やせれば、地域も活性化するかもしれないね。

田舎では就職先がないから、子どもたちが都会に出ていってしまうのは仕方ないとあきらめてきたけれど、看護師になれば就職先に困ることもないし、老人だけの町にならずに済むのね。子どもや孫と一緒に暮らせたら幸せだね。



## 市民の手で看護師を育ててください。

安房地域では、館山准看護学校と安房看護専門学校が閉校となり、すでに進んでいた看護師不足問題が深刻になりつつあります。病床数と看護師数は法律で定められているため、患者の入院を受け入れることができなくなるばかりでなく、介護施設でも十分な対応ができなくなってしまう。ますます高齢化の進む安房地域では、多くの若者や中高年の再チャレンジとして、看護職への人材養成が急務となっています。私たち医師がどんなに頑張っても、地域内で看護師を育てなければ、医療崩壊となりかねません。3月6日(土)南総文化ホールの『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』上映会を契機として、市民と医療従事者と行政がひとつになって力を合わせ、健康な地域づくりを実現するためにも、解決策をともに考えたいと思っています。ご家族ご友人をお誘いあわせのうえ、ひとりでも多くの方にご鑑賞いただけますようご協力のほどお願い申し上げます。

安房医師会長 宮川 準